

高齢者福祉施設の防犯機器設置などをめぐり議論 宿泊を伴う福祉施設での設置率は現在4割

厚生常任委員会が6日に開催されました。質疑が行われたことの1つは高齢者施設などの防犯対策です。今回の補正予算では、国の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金398万円を使って、「あいれふ安塚」、「シヨートステイあさひ」など6施設で人感センサー、防犯カメラなどを設置する経費を計上されています。委員会では、既に設置済みのところの経過などを問う質問や人感センサーや防犯カメラで効果をあげるには、それを使う体制ができていくことが重要だとの指摘がありました。大切なことだと思えます。

市はこれまで、宿泊を伴う市内の福祉施設175のうち、施設側の独自の努力によって全体の約4割にあたる71施設で防犯カメラなどの機器が設置されていることを明らかにしてきました。今回の設置で防犯機器の設置率は少し上がりますが、もっと高めていくためにはどうしたらいいか、新年度に向けてさらに議論が必要になってくるなと感じました。

来春スタートする「よしかわ保育園」（定員85人。運営は社会福祉法人 吉川福祉会）についても質疑が行われました。

ここは市立の吉川中央保育園と旭保育園を廃止し、よしかわ保育園に統合する形になります。委員からは、「希望する子どもが全員入れるのか」「職員確保などで人的支援が必要なのか」「ではないか」「通園バスの運行はどうなるのか」などの質問が出され、秋山保育課長は、「希望する子どももたち全員が入所可能」「職員数は（私立吉川保育園の）現在よりそう増えるわけではない。市からの人的支援は考えていない」「通園バスは保育園に無償貸与し、引き続き運行していく」などと答えていました。新しい「よしかわ保育園」の建設工事は外溝工事を含め今月中に終わる見通しです。

さいがた医療センターの医師確保 請願、委員会では1票差で不採択

上越地域の精神科医療の要として、大きな役割を果たしてきた国立病院機構

さいがた医療センター。同センターは、近年、慢性的な医師不足の状態が続き、日常的な診療にすら支障を来しかねない状況になっていきます。そうしたなかで全日本国立医療労働組合犀潟支部は、今議会にさいがた医療センターの医師確保に関する請願書を提出しました。

この請願審査は厚生常任委員会に付託され、6日、審査の結果、残念ながら賛成3、反対4で不採択となりました。各委員



【ノゲシ】キク科の越年草です。漢字で「野芥子」と書きます。春から秋まで日当たりのいい道ばたや荒れた畑などで咲いています。葉にはトゲがあるけど、柔らかく、痛くはありません。写真は吉川区代石にて。

の意見表明では、「たいへん重要なこと」「市内病院全体で共通する課題」との認識は一致したものの、「さいがたのセンターだけ出すというのはいかがか」「まずは地元関係団体と協議すべきだ」「時期尚早だ」などといった声が出て、僅差の不採択となりました。

請願の最終的な採択、不採択は15日の本会議で決まりますが、不採択となった場合でも、このままにしておけないという空気が強く、上越市全体の問題として市議会でも何らかのアクションを起こすべきではないかという声が上がっています。左上の写真は昨日のさいがた医療センターです。

議会最終日に鳥インフルエンザで 全員協議会開催へ

市内の養鶏場で発生した鳥インフルエンザ。農場での防疫措置は6日に完了しました。

対策本部によると、17日に実施する清浄性検査で陰性が確認されれば、搬出制限区域（10km）を21日に解除することです。また、新たな発生がなければ、防疫措置完了から21日経過後の28日午前0時に移動制限区域（3km）を解除するとしています。県による水質調査（防疫措置による環境汚染があるかないかの調査）は、防疫措置区域の地下水2地点及び河川水1地点で行われていますが、5日現在、異常は認められなかったといえます。議会では15日、今回の鳥インフルエンザについての全員協議会が開催されます。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1786 2016.12.11
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見たある記」は
← こちら

橋爪法一 検索



確かにそうですよ、小さかったころに父親に手を引いてもらったとしても、そのことはすっかり忘れていて。そして、父親の手を握ってちゃんと見るようになるのは、父親の体力が急速に落ちたり、病弱になったりしてからになります。

先日、八五歳で亡くなったNさんの告別式でのことでした。式が無事終わって、喪主を務めたYさんが参列者にお礼の挨拶をする場面になりました。Yさんはそのなかで、父親の手について静かに、しかし熱く語りました。父親が入院している時、初めて父親の手にさわったYさんは、「こんなにも黒くて、大きな手だったのか」と思っています。感謝の気持ちがおみあげしてきたのです。参列者が聴き入り、それぞれ胸を熱くしているのが伝わってきました。

話を聴いて、私は自分の父親のことを思い出していました。子どもの頃、私は父と一緒に遊んだ記憶はまったくありません。大島区にある母の実家へのお盆泊まりのときの写真がいまも残っていますから、父と一緒に出かけたことは何度かあるようなんです。当時の父親の手のことはまったくよみがえってこないのです。

私と遊んでくれたのは祖父、音治郎でした。祖父とは家の前庭から百五十ほど離れたハサ場までとび競争をしましたし、家の中では相撲もしました。ですから、祖父の長い指、大きな手はよく憶えています。子ども時代は父の手についての記憶がないのは、それだけ父が忙しく働いていて、子どもと一緒に時間が持てなかったことが大きいと思います。冬の間、父が酒造りの出稼ぎに出ていることも一緒に時間を少なくしていました。

父親の手のことを意識し始めたのは、私もYさんと同じでした。七〇代後半に入り、父が自力ではなかなか歩けなくなったときに、父の両手を持ち、こちらがバック

しながら歩くということをするようになりました。時には、「一、二、一、二」と声を出しながら歩きました。

弱ってきた父ではありませんが、それでも手の大きさは変わりません。太くて、じつにしっかりした指、祖父に負けないくらい大きな手、私はその手から、父のそれまでの苦労、頑張りを思いました。

父の晩年は入院生活でした。耳の方はずっと聞こえていたようですが、自分ではしゃべることができませんでした。見舞いに行っても意思の疎通ができないことから、最後は手を握って別れることが多くなりました。ですから、父の手と言うと、病院に入っていたときの手を思い出してしまいます。

Nさんは酒造りでは杜氏として活躍された人です。確か、全国鑑評会で何度か金賞に入ったことがあったと思います。出稼ぎをやめてからは田んぼ仕事の傍ら、菊作りにも励み、地元の文化展などで表彰されていました。とても器用な人だったなと思っています。

出棺を前にした花入れのとき、私も花を持ち、Nさんと最後の別れをさせてもらいました。じつはYさんの挨拶を聴いて、Nさんの手を見てみたいと思ったのです。でも、手には布団がかかっている、見る事ができませんでした。私は、布団の上に掛けられた「清酒」という白抜き文字が入った造り酒屋の半纏を見ながら、Nさんの大きな手を想像し、手を合わせました。

Yさんの挨拶にも出てきましたが、Nさんは畑仕事も熱心な人でした。その仕事は最近まで続いていたようです。そのNさんが栽培したネギがいま食べごろを迎えているとのこと。少なくとも二、三か月は食べられるでしょう。家族の皆さんはネギを食べるたびにNさんを思い出し、手のことも話題にされるに違いありません。

上越民商が住宅リフォーム改善などで市長に要望書提出

上越民主商工会（上野正信会長）は10月30日、「中小企業への施策を拡充し、地域経済の振興を求め」る要望書を村山市長に提出しました。同要望書は上田建築住宅課長らが受

け取り、提出者と懇談しました。日本共産党議員団は全員同席させていただきました。

民主商工会が要望した内容は、「上越市住宅リフォーム促進事業を来年度も継続するとともに、いわゆる春仕事を雪解け後速やかに実施できるよう、糸魚川市の受付期間(受付期間2月25日から3月25日)のように早めてほしい」「店舗等改装促進事業補助金



(現在個店で20万円)を少なくとも小規模事業者持続化補助金並みに引き上げ、商店主や施工業者の期待に添えてほしい」「被保険者の負担が軽減されるよう、国保税の引き下げを」「地方税等の督促や回収にあたっては、納税者の実情をよく聞き、丁寧な対応をして下さい。その際は納税緩和措置、とりわけ『申請型の換価の猶予』の活用を図るとともに、積極的な活用を周知徹底して下さい」

など5項目でした。

懇談の中では、住宅リフォーム促進事業の受付を2~3月に行おうとすれば、その前に補正予算を組む必要があること、店舗等改装促進事業について、来年度も継続する方向で予算要求していること、指摘の納税緩和措置についてはPR不足であることなどが明らかにされました。

懇談は終始和やかで、参加した民主商工会の会員は、「率直な意見交換ができた」「勉強になった」などと話していました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月30日(水)	12月7日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.043	0.047
頸南消防署	0.047	0.053
東頸消防署	0.047	0.040
高士分遣所	0.043	0.050
名立分遣所	0.050	0.053